

CBAP 合格体験記
(日本語：CBT 受験)

アイ・エス エス シー(ISSC) 山本泰

<http://www.issc-yamamoto.jp/>

受験日：2013年9月7日(土) 午後

CBAP 取得を検討している方の参考になればと思い、「CBAP 受験に至った経緯と理由」、「受験勉強をする際のお勧め」、「取得して半年たって、今後どのように活用したいか」を述べます。

「CBAP 受験に至った経緯と理由」

現在、システム構築の上流工程や業務設計においてユーザー企業を支援しています。一方、情報セキュリティシステム構築から運用において、業務システム構築と維持の観点より企業の支援を行っています。

これらの業務経験を体系だてようと模索していた時に、日経コンピュータなどで BABOK を知り、関心を持ちました。現在の業務領域と重なり、業務活動で参考になると考えたからです。以前から自身の業務実績と知識習得レベルを確認しようと考えており、日本語試験が開始されたため受験を決意しました。

「受験勉強をする際のお勧め」

受験勉強の概要は以下のとおりです。

- ー 研修：CCBA 資格試験対策セミナー(富士ゼロックス総合教育研修所)、通い2日間
- ー 自習：先ず、「CBAP/CCBA スタディガイド：上下」を読み込んで、タスク、要素などから理解不足部分をメモに書き出しました。その後、上記研修やスタディガイド、BABOK 入門に付属の模擬試験を解き、不正解部分を BABOK ガイドに戻って復習するサイクルを出来る限り繰り返しました。
- ー 工夫：一度に多くの時間確保が難しく、模擬試験解答と正誤確認及び復習を別の日に行うようにしました。また、インプットとアウトプットは各タスク単位で理解するようにしました。これは、全てのインプットとアウトプットの整合性を確認しようとする返って混乱すると感じたからです。そのタスクに必要なインプットとタスクを実行した結果が何か、に焦点を当てて理解するようにしました。

さて、一つ目のお勧めについて、費用はかかりますが、上記研修は集中して一通りを学習できる点がよいと思います。タイトルは CCBA ですが、ポイントは CBAP も同様でした。模擬試験の量も増え、解答用紙の作成方法など受験勉強のノウハウも教えてもらえます。



二つ目のお勧めは、IIBA 日本支部の BABOK-WG 活動に参加することです。直接 CBAP 受験勉強が目的ではありませんが、各タスクに対するメンバーの知見が得られること、議論に参加するために対象タスクを読み込み自分の経験と照らし合わせる作業が必要で、結果的に暗記でない知識取得につながりました。

<参考：対策にかかった費用と時間>

費用：集合研修に約 12 万円強、参考書など合わせて 13 万円程度。

時間：集合研修が 2 日、自習合計で 100 時間弱 延べ約 14~15 人日程度

「取得して半年たって、今後どのように活用したいか」

取得直後は、引き続き自身の実務で活用しようと考えていました。更に、未だに BA などの超上流工程でのタスクを十分実施せず、結果的に失敗しているプロジェクトが多い事を実感していましたので、BA が有効であった実績を重ねて行き、その定義を含めて失敗プロジェクトを少しでも減らしたいと考えていました。



CBAP を取得して半年(2014 年 3 月)がたち、「BA って何？」と質問された時、BA に関わる皆が共通して説明できるものが必要だと感じています。いざ、名刺や経歴に CBAP を反映しようとすると、説明がスペースに収まりません。短く簡潔な表現でビジネスアナリシス (BA) を説明できる、共通のキャッチのようなものがあればいいと思います。

また、地方中核都市に BA をもっと説明する必要があると思います。まだまだ、知られていないのが現状です。

BABOK 以外にも、要求開発方法論など、事業目的・戦略から実現すべきソリューション (要求)を導くための知識体系や方法論があります。本来これらはユーザー企業が主体的に実践する事が望ましく、知識習得と実践を通じてユーザー企業を支援していきたいと考えています。ちょっと大げさですが。